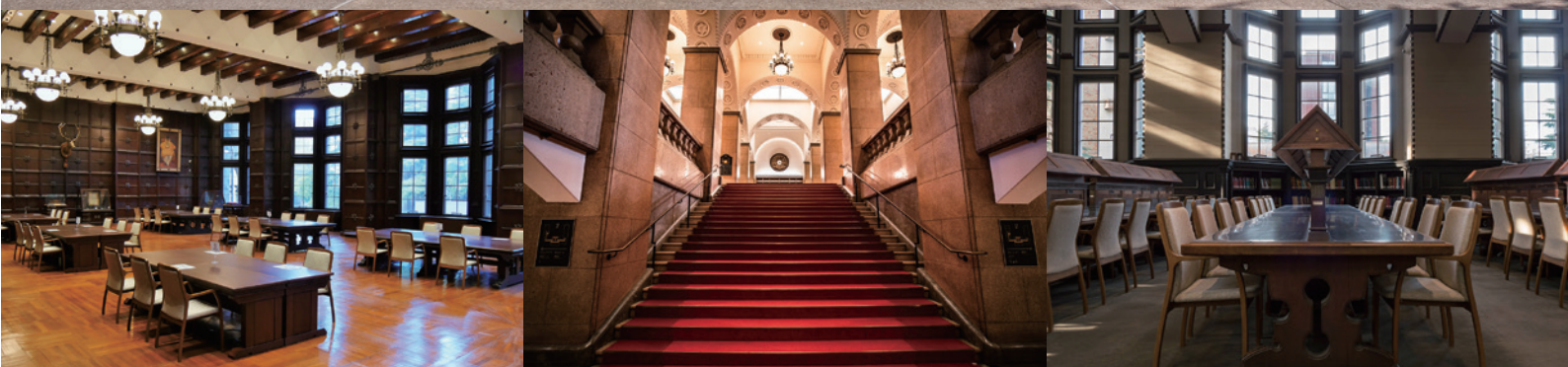


図書館の窓

Vol.59 No.1
2021.4



[表紙写真] 東京大学総合図書館

【特集1】「東大図書館」を使いこなす方法

【特集2】総合図書館グランドオープン

【コラム】図書館って安全に使えるの？ — 感染拡大防止対策をしています！ —

新図書館
計画完了

本誌中のサービス提供状況は2020年12月時点のものです。

状況によりサービスが変更となる場合があります。最新の情報は各図書館・室のWebサイトをご覧ください。



特集1

「東大図書館」を使いこなす方法

**図書館のサービスは、実際に図書館に行かなくても受けられます。
新しい行動様式に合わせて、図書館サービスを使いこなしてみませんか？**

※この号では主に学生向けサービスをご案内します。

◎特徴の違う30の図書館・室を使い分けてみる

東大図書館って、実は1つじゃないんです。

本郷キャンパスの総合図書館、駒場キャンパスの駒場図書館、柏キャンパスの柏図書館という**3つの拠点図書館**があり、また学部・研究科や研究所等にそれぞれ設置されている**部局図書館・室**が27あります。

これら30の図書館・室が一体となってサービスを提供しているのが「東京大学附属図書館」です。

◎ホームライブラリとは？

他の図書館から取り寄せた資料の受け取りなど各種図書館サービスを受ける拠点となる図書館・室のことを「**ホームライブラリ**」と言います。基本的に、自分の所属する部局にある図書館・室がホームライブラリになります。

ホームライブラリでは次のようなことができます。

◆MyOPAC利用に関する手続き

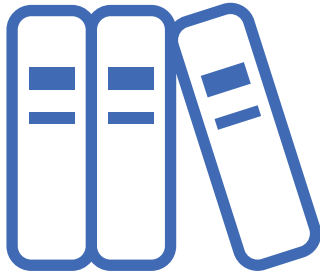
◆他の図書館・室から取り寄せた資料の受け取り

「資料の探し方が分からない」「探している資料が見つからない」など、

図書館利用で困ったときは、お気軽にホームライブラリへお問い合わせください。



図書館・室利用の際には、学生証が必要なので、忘れずにお持ちください。



本を探してみる

東京大学附属図書館で所蔵している資料は、「東京大学OPAC」で検索することができます。読みたい本や雑誌をOPACで検索し、所蔵している図書館・室を訪れて資料を利用してみましょう。

UTokyoアカウントを使ってMyOPACにログインすれば、様々なサービスを利用することも可能です。離れたキャンパスの資料を取り寄せることもできるので、有効活用してみましょう。



https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac_search/



本や複写を取り寄せてみる

貸出中の図書や他キャンパスの図書を、ホームライブラリに取り寄せることができます。MyOPACにログインし、利用したい図書を検索して、資料詳細ページの「予約・取寄」アイコンをクリックしてください。「複写」「PDF」アイコンからは、コピー・PDF*の取り寄せを申し込むことができます。

学内の図書を取り寄せるのは無料ですが、コピー・PDFの取り寄せは有料のため、利用にあたってはホームライブラリで事前の登録手続きが必要です。

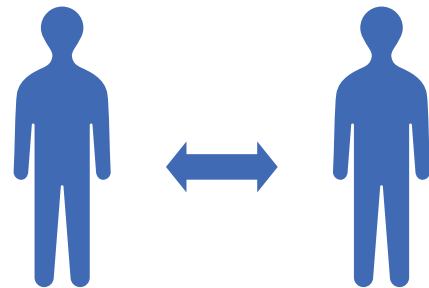
※ PDFの取り寄せは学内の一部図書館・室のみ対応



購入リクエストをしてみる

学習や研究に使いたい本が図書館に所蔵されていない時は、キャンパス拠点図書館、もしくはホームライブラリに購入のリクエストをすることができます。MyOPACにログインして、「MyOPACサービス」の「図書購入リクエスト」から、必須事項を記入してお申込ください。

※それぞれの図書館・室ごとに資料収集の基準や方針があります。リクエストの内容によっては、お申し込みを受け付けられない場合がございます。予めご了承ください。



適度な距離で図書館をしてみる

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、学内の各図書館・室は、閲覧席の間引きや貸出・返却カウンターへのアクリルパネル・パーテーション設置など、人と人の接触を減らすべく、各種の対策をとっています。

図書館・室の利用に際して色々とお不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

「コロナウイルス感染症対策に伴う
各図書館の閉館・サービス変更等について」



<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/news/20200228>



Webサイトを見てみる

トップページの赤門が描かれた錦絵「松乃栄」が特徴的な東京大学附属図書館Webサイトでは各図書館のサービス案内や、今後予定されているイベントの情報、各種オンラインサービスへのリンクがあります。



図書館の最新情報はここから確認してください。
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>



電子ジャーナル・電子ブックを使ってみる

最近は紙の本や雑誌だけではなく、オンライン上で閲覧することができる電子ジャーナルや電子ブックも増えてきました。E-journal & E-book Portal を使うとそのような資料を探すことができます。

学内のネットワークにつながった端末からアクセスすると閲覧することが可能です。



<https://vs2ga4mq9g.search.serialssolutions.com/>



データベースを使ってみる

学習や研究に使用する学術情報を探すため、東京大学では数多くのデータベースを利用することができます。そのようなデータベースのリンクをまとめたサイトがGACoS です。GACoSでは、データベース名だけでなく、資料タイプや主題からデータベースを探すことができます。GACoSを入り口として、自分に合ったデータベースを探してみてください。



<https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/>



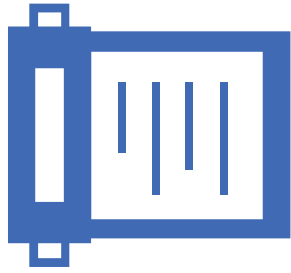
学外から電子資料を使ってみる

東京大学で使うことができる電子資料は、基本的にはキャンパスの中からアクセスして利用しますが、学外からでも電子ジャーナルやデータベースなどの電子資料を利用することが出来る場合があります。認証サービスにログインをすることによって、学外からも利用することができます。

この機能を使うためには、アカウントの設定など、事前準備が必要となります。



<https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/gakugai.html>



アーカイブズポータルを 使ってみる

附属図書館、総合研究博物館、文書館、情報基盤センターが中心となって進めている「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」。その取り組みの一環として、これまでに学内の様々な部局がデジタル化したコレクションを横断的に検索できる「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」が公開されました。多種多様なデータをご活用ください。

<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/>



ASKサービスで レファレンスを頼んでみる

「この論文はどこで入手できる?」

「〇〇についての文献を調べるには?」

ASKサービスは、図書や文献、情報の検索に関するレファレンス質問をWebフォームに入力し、メールで回答を得ることができるサービスです。回答に最も適した図書館・室が、あなたの質問に答えます。

<https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/ask/>



講習会・図書館オリエンテーションに 参加してみる

図書館の各種サービスを使いこなすには、講習会やオリエンテーションに参加するのもおすすめです。論文の検索方法、文献管理ツールの使い方、専門分野ごとのデータベースの利用方法や活用のコツなどを知ることができます。授業やゼミ、グループ単位でのオーダーメイド出張講習会も行っています。

<https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/training.html>



学生スタッフとして 活動してみる

各図書館・室では、随時、学生スタッフやボランティアなどを募集しています。カウンター業務や書架整理、選書、蔵書点検、お薦め図書の紹介、データ整備、広報の企画・実施など、内容は多岐に渡り、図書館サービスをより深く知ることができます。

図書館の舞台裏に興味のある方はぜひ、Webサイトなどで募集案内をチェックしてみてください。

特集2 総合図書館グランドオープン

附属図書館「新図書館計画」は、総合図書館別館の竣工（2017年5月）、本館の耐震改修工事（2015年9月～2020年8月）、アジア研究図書館開館（2020年10月）を経て、2020年11月26日のグランドオープンをもって完了しました。準備段階まで含めると、足かけ10年にわたる長期のプロジェクトでした。この新図書館計画により、総合図書館は資料収容能力385万冊（本館開架22万冊・本館書庫63万冊・自動書庫300万冊）、座席数総計約1,100席（本館900席・別館200席）を有する新たな学習・研究拠点として再生されました。今回は、グランドオープン後の新たなサービスを中心に、現在の総合図書館の姿をお伝えします。

各フロアの主な施設	
■ ラウンジ	5F
■ アジア研究図書館	4F
■ 大閲覧室 ■ セミナールーム3 ■ 開架図書 ■ 参考図書 ■ ホール	3F
■ 閲覧室 ■ セミナールーム1・2 ■ ECCSルーム ■ ラウンジ ■ プロジェクトボックス ■ 防音ブース	2F
■ 総合カウンター ■ 記念室 ■ 新着雑誌・新聞閲覧室 ■ コピーコーナー ■ 国際資料コーナー ■ オープンエリア ■ 展示スペース	1F
■ 保存書庫カウンター ■ 地下カウンター ■ 保存書庫1・保存書庫2 ■ 書庫資料閲覧室 ■ 閲覧個室 ■ 別館ライブラリープラザ連絡通路	B1F

3F 開架図書

この数年、改修工事により館内の様々な場所に仮置きされていた開架図書が、2020年10月から全て3階に配置されました。もう、図書を探して違うフロアを行き来する必要はありません。また、書架の近くに閲覧席を設けています。授業の準備やレポート作成などにご活用ください。



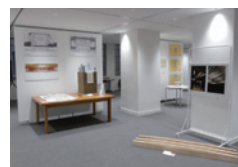
3F ホール

3階ホールには、様々な図書が展示されています。東京大学の教員が自らの著作を語るサイト「UTokyo BiblioPlaza」に掲載された図書や、東京大学出版会、東京大学生生活協同組合とのコラボ展示コーナー、新着図書コーナーもあり、多種多様な図書が語りかけてくる空間です。思いがけない本との出会いがあるかもしれません。

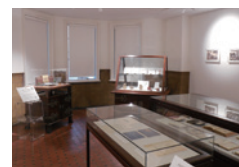


1F オープンエリア/展示スペース

オープンエリアは、東京大学の知的資産の公開、学術成果の発信などを行う空間です。展示スペースは、総合図書館の所蔵資料を知ってもらうための展示エリアです。どちらも開館時間中であればいつでもご覧いただけます。



オープンエリア



展示スペース

B1F 保存書庫

別館に自動書庫が新設されたことにより、本館の書庫は、保全に注意を要する資料を収蔵する場所と位置づけました。さらに、特に扱いに注意を要する和漢古書は専用書庫に集約しました。あわせて書庫資料用の閲覧室と個室を地下1階に用意しましたので、落ち着いた雰囲気の中で貴重な資料と向き合うことができます。



4F アジア研究図書館

4階には2020年10月より新たにアジア研究図書館がオープンしました。アジア研究図書館は、東京大学に蓄積されてきたアジア関係の研究資料を集約・再構築し、国内外のアジア研究者が集う世界最高水準のアジアに関する研究環境を実現することを目指しています。図書はアジア研究図書館独自の新たな分類体系によって整理されており、今後も利用可能な資料が増えていく予定です。



別館 ライブラリープラザ & 自動書庫

本館の改修工事が進む中、2017年5月には別館が竣工しました。別館は、本館入口前の噴水の真下に広がる、会話をしながらの活動に利用できるライブラリープラザと、約300万冊の資料が収容可能な自動書庫から成り立っています(2021年1月末現在、自動書庫には約54万冊の資料が格納されています)。ライブラリープラザは新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で現在は会話禁止の措置をとっています。円形の明るい開放的なスペースを個人学習にもご利用ください。



ライブラリープラザ



自動書庫

ただいま準備中

学外との連携プロジェクトも含め、集中的な討議・作業等が必要となる中小規模のグループ向け個室「プロジェクトボックス」や、語学学習、プレゼンテーションの練習など音声を発する個人活動に最適な「防音ブース」、講習会や研究会、授業等への貸出を行う「セミナールーム」なども順次オープン予定です。

感染拡大防止対策をしています！

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行によって、私たちの生活は大きく変わりました。本学の図書館・室も、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京大学の活動制限指針」や各学部の方針に基づき、新たな教育・研究のスタイルに応じたサービスのあり方を模索しています。2020年4月の緊急事態宣言前後は図書館は閉館となりましたが、資料・複写物の郵送サービスやオンラインコンテンツの提供を行いサービスを止めないよう努めてきました。

附属図書館では本学の活動制限の緩和に応じ、利用者の皆様に安心して図書館を使っていたくためにカウンターへのアクリルパネル設置、施設内の換気の徹底、定期的な清掃等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして開館しています。

ご来館の際、利用者の皆様にはマスクの着用、入り口での手指消毒、間隔を空けての座席のご利用等へのご協力をお願いします。

東京大学では2021年度も対面授業・オンライン授業を併用する方針です。

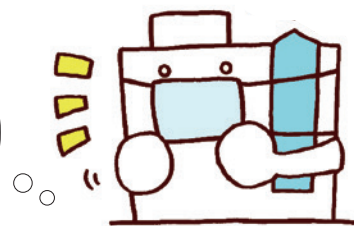
図書館も利用者の皆様の健康に最大限の注意を払いつつ、可能な限りの対面サービスに加え、ご自宅からも利用できる各種オンラインサービスを展開します。是非ご利用下さい。

オンライン学習、
在宅研究・勤務で利用できる
オンラインサービスのご案内

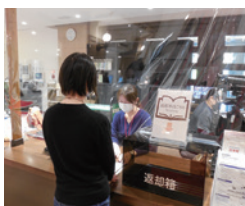


<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/studyathome>

ご来館の際は
①マスクの着用
②手指消毒・手洗い
③体調の確認
にご協力ください。



駒場図書館キャラクター こまとちゃん



カウンターのパーテーション
(総合図書館)



サーモグラフィー
(総合図書館)



入口での手指消毒
(総合図書館)



閲覧席消毒作業
(理学図書館)



間隔を空けた閲覧席
(理学図書館)



カウンターのビニールカーテン
(柏図書館)



手指消毒と体温計
(柏図書館)



ソーシャルディスタンスサイン
(駒場図書館)



検索用端末利用時の手指消毒
(理学図書館)



カウンター消毒作業
(農学生命科学図書館)

